

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	248	4年	通年	看護学科	必修	看護研究 Nursing Research	90	3
担当教員								
看護学科全教員								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
○	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
○	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
看護専門職者として、エビデンスに基づいた看護を実践できるようになるために、「実践と研究」等で学習してきた研究方法論を基盤に、実際に研究に取り組むプロセスを経験することを通して、研究を理解し、展開するための能力を修得する。また、そのプロセスを通して、看護実践と研究の関係について考察を深める。								
到達目標（授業目標）								
① 探究したい問題や現象を言語化し、文献検討を踏まえて研究課題を特定できる。								
② 研究テーマ・課題から、目的・目標を明確化し、文章化できる。								
③ 目的・目標に適した研究方法を選択し、研究計画書として具体的に記述できる。								
④ 研究計画書に基づいて、研究の倫理に配慮しながら、研究のプロセスを適正に推進できる。								
⑤ 適正にデータを収集・管理し、適切な方法で分析できる。								
⑥ 分析した結果を文献と照合しながら解釈し、その意義に基づいて結果を考察できる。								
⑦ 実施した研究の主要キーワードを用いて表題を設定し、目的・方法・結果・考察・結論を論理的に記述できる。								
⑧ 主体的に研究のプロセスを経験することを通して、看護実践と研究の関係について考えを述べられる。								
⑨ 研究の成果を聴衆にわかりやすくまとめ、プレゼンテーションし、質疑に回答できる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								



備考	<ul style="list-style-type: none"><li>・関連科目：前科目は、上記の他、226母性看護学実習、230 精神看護学実習、236 地域看護学実習、239 在宅看護論実習を含む。</li><li>・3 年次後期に事前オリエンテーションは実施済み</li><li>・各教員に研究課題や研究指導担当の可否などについて相談可能</li></ul>
----	---